

共生

奈良県生協連

2020年 7月

NO.117



奈良県生協連第31期通常総会



学校給食の休止に伴う未利用食品活用緊急促進事業
—フードバンク奈良—

もくじ

奈良県生協連第31期通常総会	1
会員生協からの活動報告	2・3

奈良県生協連 第31期通常総会を開催しました

2020年6月27日(土) 奈良ロイヤルホテル

6月27日、奈良県生活協同組合連合会第31期通常総会を開催しました。2019年度事業報告と2020年度事業計画・予算案などが確認され、新たな一年のスタートを切りました。

新型コロナウイルスの感染拡大予防のため書面議決による総会とし、参加は理事11名、監事2名、代議員3名、オブザーバー1名、事務局4名で活動報告や奈良県の生協の1年間の取り組みを共有しました。

森宏之奈良県生協連会長は冒頭の挨拶で、「協同組合の思想、実践が人類の未来を切り開く問題解決のための大きな力を持つことに確信をもってそれぞれの大学、地域で我々の活動の範囲のすそ野を広げていきましょう。」と述べました。

今回は、ご来賓へのご案内はできませんでしたが全国から多数のメッセージをいただき地域共生社会づくりを目指し新型コロナウイルスに打ち勝ち、事業と生協活動に取り組むことをあらためて確認しました。

司会に柏原勇介理事、議長にならコープ代議員の稲野玲子さんが選出され議事に入り、議案の一括提案を行いました。代議員27名中、実出席3、書面議決23、委任1の合計27名の出席で審議採決し、全議案が賛成多数で可決成立しました。

2020年度の重点課題

- (1) 協同組合の理念を広げ協同の心が息づく取り組みをすすめます
- (2) 諸団体と連携・協同し、安心して暮らせる地域共生社会づくりに参加します
- (3) 平和とよりよいくらしの実現のための社会的諸課題を学び考える場をつくります
- (4) 会員生協の交流と連帯をすすめます
 - ① 奈良県生協連創立30周年記念事業に取り組み、さらなる会員生協との連帯を図ります
 - ② 30周年事業(式典〈奈良県生協大会〉・セレモニー)、食の安全懇談会等を通じて行政や諸団体と新たな関係性構築を目指します
 - ③ 県内被爆者の証言集を整理し、継承に取り組みます
 - ④ 奈良県生協連活動の30年の歴史を整理・振り返り、今後のあり方や次世代へつなぐ取り組みにします

承認された議案

- 第1号議案 2019年度事業報告・決算
関係書類承認の件
- 第2号議案 2020年度事業計画及び
予算案決定の件
- 第3号議案 役員選任規約改定の件
- 第4号議案 役員選任の件
- 第5号議案 役員報酬決定の件



2020年度の役員体制

会 長	森 宏之	員外	理 事	橋本 健太	奈良工業高等専門学校生活協同組合
副 会 長	中井 信司	奈良県労働者共済生活協同組合	理 事	福山 明浩	奈良県医療福祉生活協同組合
専務理事	山本 弘志	員外	理 事	水谷 知生	奈良県立大学生生活協同組合
理 事	石間奈穂子	奈良教育大学生生活協同組合	理 事	山田 勝久	生活協同組合コープ自然派奈良
理 事	加藤 由美	奈良女子大学生生活協同組合	理 事	山中 教義	市民生活協同組合ならコープ
理 事	城本 壘	生活クラブ生活協同組合	監 事	稲津 和之	奈良県労働者共済生活協同組合
理 事	中野 素子	市民生活協同組合ならコープ	監 事	三田 幸子	市民生活協同組合ならコープ

お疲れさ
ました!



退任理事 柏原勇介さん
(コープ自然派奈良)



新任理事 山田勝久さん
(コープ自然派奈良)

宜しく
お願いします!

2019年度会員生協からの活動報告(総会議案書から要約)

市民生活協同組合ならコープ

社会的課題への対応として、食品ロス問題を「組合員のつどい」のテーマとし、事業面と活動で食品ロス削減に向けて取り組みました。10月の「食品ロス削減月間」には、奈良県と共催で食品ロス削減運動を展開しました。10月30日「食品ロス削減の日」には、全店舗でフードドライブを実施し、121人から354.2kgの食品が寄せられました。全店で10月～12月の生ごみ廃棄量は前年比83.1%・14.4t削減(お米5kgに換算すると2,880袋分)できました。



組合員のつどい
「食品ロス」

生活協同組合コープ自然派奈良

「誰もが有機農産物を食べることができる社会実現」のための取り組みをさらに深めました。生産者には農作業に集中できる環境づくりを実施し、余剰有機農産物はすべて買い取り「Oh! Susowake」企画と称し、希望の組合員へ無償配布を行いました。組合員活動では生産者を招いた商品学習会や、昨年同様に特別決議の取り組みをさらに強化し、憲法問題や、原発・内部被ばくの問題、遺伝子組み換え食品問題などの学習会を開催し、多くの組合員と問題共有を図りました。



商品学習会の一場面

生活クラブ生活協同組合

2019年11月13日(水)にアウトドア用品のトップブランド・パタゴニア日本支社のブランド・レスポンスビリティ・マネージャー篠健司さんを講師に迎えて講演会を開催しました。世界的な企業であることや、地球環境に対してエネルギー問題だけでなく、多方面から様々な活動をしているという内容に興味を途切れることがありませんでした。講演後、「生活クラブでんき」に関心を持ち、前向きに契約を検討するという組合員もあり、これまで推進活動を行ってききましたが、伝えることの大切さ、なによりその手段の重要性をあらためて感じました。



講演案内

奈良女子大学生協同組合

奈良女子大学生協は、附属中等教育学校(中高一貫教育で1～6年生まで・1学年約120人)に小さなお店を持っています。食堂は「もぐもぐ亭」、購買コーナーを「パレット」といいます。生協委員GGF(ごはんを食べて、元気いっぱい、フレッシュ委員会)がいろいろな活動しています。『平成最後のカレー祭り』と題し、生徒からカレーのレシピを募集し投票、1位に輝いたのはキーマカレーでした。食堂「もぐもぐ亭」で『Legendary Curry』としてたくさんの組合員に出食し、味わっていただきました。またテイクアウトできる食べ物として、料理の得意な生徒より『焼きおにぎり』のレシピをいただき、試食会を重ねて『チーズ入り高菜焼きおにぎり』ができました。生協スタッフと生徒と一緒に商品開発できた1年でした。



もぐもぐ亭

奈良教育大学生協同組合

奈良教育大学生協では、生協学生委員会と大学オリジナルグッズを開発し、「なっきょんブランケット」(季節商品)と「なっきょんボールペン」(通年商品)の2つを製作しました。「なっきょんブランケット」は、冬の季節に「冬の教室が寒い。防寒グッズが欲しい。」という意見から生まれました。もう1つの「なっきょんボールペン」は黒と赤と青の3色ペンで学生にヒアリングし開発しました。1月から販売を開始しましたが、学生や教職員からも好評をいただきました。今後もお菓子や他の文具などのリクエストが来ているので、引き続き学生委員会と一緒に商品開発を進めていく予定です。



「なっきょんブランケット」と
「なっきょんボールペン」

奈良県立大学生協同組合

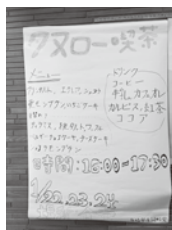
2019年、奈良県立大学生協は創立25周年を迎えました。この25年の利用に感謝し、「25周年記念week」を12月16日(月)～19日(木)の4日間で行いました。組合員還元企画「ニコニコ(2525)抽選会、ビンゴ大会」。社会について考える企画では、生協学生委員会が考えた「平和についての掲示物」と「あなたにとって平和とはのアンケート企画」、非常食の試食会や防災袋の展示。組合員交流企画として生協食堂が学生・教職員みんなが集う場所でありたいと「一夜限りの居酒屋 まNPU<亭」を企画、学長を始めとした多くの教職員、学生が集い、盛り上がった企画となりました。



一夜限りの居酒屋 まNPU<亭

奈良工業高等専門学校生活協同組合

生協同好会の継続企画として、4月新入生歓迎会(学生会執行部と共催)、7月カキ氷祭、12月食生活相談会、1月タヌロー喫茶、春秋に開催した自転車点検会等を実施しました。7月に開催された共済セミナーには7名の学生が参加しました。



タヌロー喫茶

1月23、24日には恒例企画であるタヌロー喫茶を開催しました。企画の内容は、学生が用意したデザート、飲料を安価で提供しました。準備は学生が一から行い、提供するメニューの内容や、広報物の作成などを精力的に行っていました。準備の甲斐あって、2日間合計で209名の組合員が参加し、大変好評でした。開催時期が学年末試験の直前であるため、テスト勉強の息抜きに来る学生組合員に、一息つく事ができる場所を提供することが出来ました。

奈良県医療福祉生活協同組合

総代への情報提供と意見の集約の機会を増やすために、秋に総代懇談会を4会場で開催し、73名の総代の参加がありました。サークル活動が活発に行われ、



すこやかカフェの一場面

生協ホールでは5サークルが定例で活動しています。また、組合員が誰でも自由に参加できる「すこやかカフェ」は、生協ホールにて毎月第1火曜日に開催し、健康に関する学習やクイズなどお茶を飲みながら楽しい時間をすごしています。組合員交流会は、「健康づくり交流会」と名称を変更しました。テーマを「わたしの“からだ”もっと知りたい～自分や家族のためにも健診を!～」とし、幅広く身近な健診や検診の呼びかけをしました。

奈良県労働者共済生活協同組合

同 担 当 者 研 修 会



労働者自主福祉事業団体(労福協、労金、全労済)主催の研修会

大規模災害に備えるための住宅保障として「火災共済」や「自然災害共済」の加入拡大に取り組むとともに、2019年8月に制度を改定した「こくみん共済」と「個人長期共済」の告知活動を拡大し、組合員の生活の「安心・安全」の確保をすすめました。大規模化する自然災害への備えとして、「第2回防災ヴィラ」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から延期としました。万が一の際の生活再建のための住宅保障の充実化を考えていただく取り組みを積極的に展開しました。引き続き、「生活保障設計」を運動の中心としながら、組合員・生活者の生活向上に努めます。

県連日誌

5月	7日(木)	期末監事監査
	21日(木)	2019年度第7回理事会
6月	12日(金)	日本生協連第70回通常総会
	13日(土)	特定非営利活動法人 なら消費者ねっと通常総会
	15日(月)	生活クラブ生協総代会
	20日(土)	コープ自然派奈良総代会
	20日(土)	医療福祉生協総代会
	23日(火)	ならコープ総代会
	24日(水)	奈良女子大学生協総代会
	27日(土)	第31期奈良県生協連通常総会 ／2020年度第1回理事会
	30日(火)	フードバンク奈良総会

共生NO.117(7月号)について

新型コロナウイルス感染防止のため、事務局業務を縮小して運営しております。また会員生協でも活動を自粛しております。そのため共生NO.117(7月号)は内容を変更してお届けさせていただきます。共生NO.118(10月号)以降も変更する場合があります。一日も早く収束することを願っています。

編集後記

外出自粛が続き、生活習慣が大きく変わりました。(コロナ太りとはなんとか防げた?)人には「喜」「怒」「哀」「楽」「憂」と5つの感情があり、新型コロナウイルスの影響で「怒」「哀」「憂」の感情が強く、なかなか「喜」「楽」の感情を実感することが困難でした。還暦が近づく中で「喜び」や「楽しみ」を少しでも実感できるように好きな映画、音楽、書籍、部屋のレイアウト変更など自覚し、少し行動することで気分転換と免疫力UPを目指しています。

(弘)

この年で、スマホデビュー。1週間は、変えたことを後悔したり、イラッとしたり。今は、孫の動画が送られてくるのを楽しみにしています。

(和)

ステイホームから、次第に生活が戻りつつありますが、出勤前の検温とマスク着用、手洗いは習慣になりました。自粛中に35度台の平熱を高めるための漢方のオンライン診療を受け、お茶を飲み始めました。体温上昇で免疫力が高まったかな。

(順)

久しぶりに友人とウォーキングに出かけました。梅雨の合間の良いお天気でしたが、やはりマスク着用は暑くて酸欠になりそうでした。時々外しては深呼吸!それでも久しぶりの友人との時間はとても楽しい時間でした。気にすることなく話せる日が早く来ることを願うばかりです。

(佳)